

挑む!

高校中退者向けの塾を開く

まさし
山口 真史さん(35)

若者の再出発支え 夢語り合おう



1983年、269人の乗った大韓航空機が撃墜された事件で、乗客だった父を亡くした。当時2歳で、父の記憶はなかったが、後にカバンを紛失するトラブルで搭乗便を遅らせたため、事件に巻き込まれたと聞いた。「人生に決まったレールはない」との思いを強くした。

技術職だった父と同じ道を母に勧められ、奈良工業高専に進んだ。授業に興味を持てず、4年で中退し、必死に受験勉強をして関西学院大に入った。

奈良県出身。2013年、兵庫県西宮市で一般社団法人newlook(電話0798・56・7139)を立ち上げた。

同法人運営のTOB塾代表。

大学卒業後、人材会社に就職。新人教育に携わったのをきっかけに教師を目指すようになった。教員免許を取り2009年、兵庫県内の中高一貫校の社会科教諭として教壇に立った。

「中退する生徒の再出発を支えた」。4年後に学校を辞め、兵庫県西宮市に一軒家を借り、高校中退者を中心に支援する「TOB塾」を開いた。個別に勉強を教えつつ、人生相談に耳を傾ける。「プロゲーマーになりたい」「またぎになりたい」。夢を語る若者と全力で向き合うことが楽しい。開塾当初から、夜の街を回って若者の話を聞く活動も。夜の飲食店で働く若者に高卒程度認定試験(旧大検)を勧め、飲食店の営業前に授業する取り組みも始めた。「いつか、中退者の会を作って面白いことをしたい」

文・後藤泰良 写真・伊藤菜々子

記者から

傷つくことを恐れず、傷ついても、笑い飛ばす芯の通った青年。信じた道を突き進んで欲しい。